

⑧ 兒聞<sub>レ</sub>諸父老<sub>一</sub>我邑、上國人士來浴<sub>二</sub>城崎温泉<sub>一</sub>之所<sub>レ</sub>經、其途舊在<sub>二</sub>田間<sub>一</sub>、去<sub>レ</sub>邑稍遠、邑人或謂、旅客途<sub>二</sub>田間<sub>一</sub>則牛馬艱<sub>二</sub>乎往來<sub>一</sub>、途<sub>二</sub>邑中<sub>一</sub>、則邑人貧者、或鬻<sub>二</sub>酒食<sub>一</sub>、賣<sub>二</sub>草鞋<sub>一</sub>、所<sub>レ</sub>利多矣、乃轉<sub>二</sub>途乎邑中<sub>一</sub>、而廢<sub>二</sub>其故道<sub>一</sub>、先考獨憂曰、亦不<sub>レ</sub>無<sub>二</sub>少利<sub>一</sub>也、然而上國人士經<sub>二</sub>邑中<sub>一</sub>、則邑中兒女、視而習<sub>二</sub>其奢<sub>一</sub>矣、而博客酒徒、又易<sub>二</sub>乎走聚<sub>一</sub>、則風俗壞敗、衣食窮乏、亦未<sub>レ</sub>必不<sub>レ</sub>由<sub>二</sub>此也<sub>一</sub>、自然以來數十年、果如<sub>二</sub>其言<sub>一</sub>、父老長者、尚傳<sub>二</sub>其議<sub>一</sub>、先考謀<sub>二</sub>事深遠<sub>一</sub>、大率類<sub>二</sub>此<sub>一</sub>、父老皆歎曰、嗚乎使<sub>二</sub>片山公<sub>一</sub>、則我邑之困乏、未<sub>レ</sub>必至<sub>二</sub>今日<sub>一</sub>也、

### 読み

兒諸父老に聞く、我が邑、上國人士來たりて、城崎温泉に浴に之に經る所、其の途舊田間に在り、邑を去ること稍遠く、邑人或ひは謂う、旅客田間を途らば則ち牛馬往來に艱し、邑中を途らば、則ち邑人の貧者は、或は酒食を鬻ぎ、草鞋を賣り、利する所多し、乃ち途を邑中に轉じて、その故道は廢れた、先考獨り憂ひて曰く、亦少利無きにもあらず、然れども上國人士邑中經らば、則ち邑中の兒女、視て其の奢を習ひ、博客酒徒、又走聚し易ければ、則ち風俗壞敗し、衣食窮乏す、亦未だ必ずしもこれに由らずんばあらざるなり、然るより以來數十年、果して其の言の如し、父老長者、尚其の議を傳え、先考事を謀るに深遠、大率此の類と、父老皆歎げひて曰く、嗚乎片山公を使むらば、則ち我邑の困乏は、未だ必ずしも今日に至らざるなり、

### 訳

私は、村の老人たちに聞いたことがある。我が村は、上方の人が、城崎温泉に入浴しに行く時に通る所であった。其の道は元は田んぼの中であつて、村からはやや離れていた。村人は時には言っていた。旅の客の田んぼの中の道は牛馬往來にじやまだ。村中を通れば、貧しい村人は、ひよつとして酒食で商売をし、草鞋を売れば、利益も多いかもしれない。しばらくして道を村中に移し、旧道は廢してしまつた。亡き父だけが一人憂いて言っていた。少しは利益が無いことはないだろう。しかし、都に近い国の人たちがが村中を通ると、村中の女の子たちは、見てその贅沢さを見習う、博打をする人や酒飲みが、又集まり易く、すぐに風俗は乱れ、衣食は窮乏するだろう。今までもこういうことにならかつたことはない。いつでもあつた。それから数十年過ぎて、果してその言葉のようになった。村の老人たちは、今でもその時の議論を語り継いで、亡き父は事をするのに深く考え、ほとんどのことがこのようであつたと。村の老人は、嘆いて言う、ああ片山公の言われたようにしておれば、我が村の困乏は、きつと今日のようにはならなかつたであらう。

## 言葉・註

父老 || フロウ 村の主だった老人 老翁  
上國 || ジョウコク ①都に近い諸国。②国内で、都より西の地域。▽  
人士 || ジンシ ①教養と地位のある人。②人々。  
之 || ユク (目的地に)行く  
舊 || キユウ 古い もと 旧  
途 || ト 道

※「途・田間」途「とおる」(動詞)

艱 || カン かたい やりにくい状態  
或 || あるいは ある人 ひよっとしたら  
故 || コ 古い もと ゆえに  
走 || ソウ ハシる 移動する 先へ進む  
聚 || シユウ アツまる 集まる 人の集まるところ、むら  
鬻 || シユク ひさぐ 売る 商う  
乎 || に。を。場所・時間・目的を表す語の前に置く助字。  
より。比較・対照する語の前に置く助字。

草鞋 || ソウアイ わらじ

矣 || ナリ カナ ヤ、カと読み反語

亦 ||

未 ||

博 || バク ばくち

聚 || シユウ 集まる

壊敗 || カイハイ 崩れ破れる

由 || ヨル

然 || シカリ シカル

長者 || チョウジャ 長老

議 || ギ はかる 相談、その結果、論じ合う 思いをめぐらす

大率 || ダイソツ あらかた およそ

嗚乎 || アア 嗚呼

使 || シテ シメば